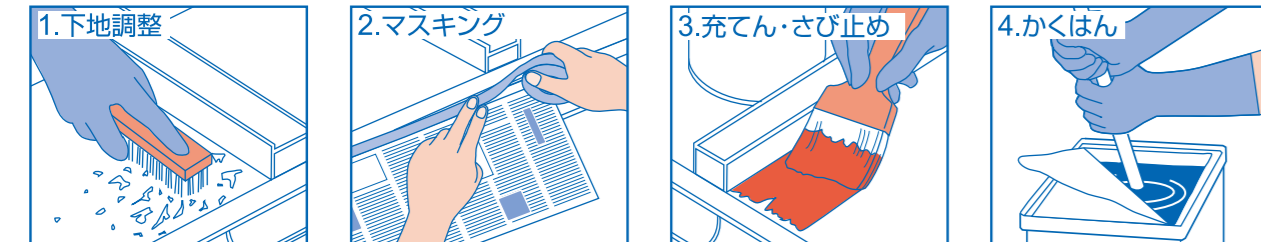


油性トタンVII

塗装方法（手袋を着用・缶の切り口に注意）



1. 下地調整
■はがれかけの古い塗膜やさびは皮スキ・ワイヤーブラシなどでよく落とし、汚れや白い粉が付く状態の塗膜はデッキブラシなどで水洗し、十分に乾燥させます。

2. マスキング
■塗らない部分や境目はマスキングテープ、新聞紙などでカバーします。
■高い所を塗るときは塗料が飛び散ることがあるので事前に周囲にある車などを移動しておきます。
■ビニールシートとマスキングテープが一体化したポリマスカーを使うと便利です。

3. 充てん・さび止め
■トタン板の釘穴・隙間などは、先にコーキング材で補修しておきます。（塗料の付着しないコーキング材もあるので注意）
■鉄の生地が出たところや、さびやすいところは、当社の「さび止めシリーズ（水性または、油性）」を部分塗りし、乾燥後、その上に本品を部分塗りしておきます。

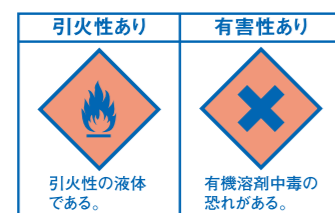
4. かかはん
■開缶前に缶を逆さにして、十分に揺すってかかはんします。
■缶の二方を缶切りで切り、切り口に注意しながらふたを開けます。
■塗料が沈澱していることがあるので、底の隅々まで十分にかき混ぜます。



5. 塗装
■塗る前に“合成ボイル油”または“ペイントうすめ液”でうすめてください。（詳細は塗装上の注意事項参照。）
■隅の塗りにくい所を毛幅の狭いハケで先に塗り、高い方から低い方へ塗り進みます。
■1回塗りで仕上がりますが、2回塗る方が丈夫で長持ちします。

6. あとしまつ
■使い終えたハケや用具は、まず新聞紙などで拭き取り、その後ペイントうすめ液でよく洗い、さらに石けん水や中性洗剤で洗い、陰干し後ビニール袋などに入れて保管します。

- 容器の色表示は、中身の色と多少異なることがあります。
- また、塗装直後の色と乾燥後の色では多少違いがあります。後日に塗り継ぎをする場合には、区切りのよい箇所で塗り終えること。
- 乾燥時間、塗り面積の表示は気象条件、塗る素材、形状、塗り方、色、うすめ方などによって多少異なります。
- この缶はよくかき混ぜられるように大きめにしております。



非危険物（指定可燃物）・合成樹脂調合ペイント・火気厳禁

プロテクター：プラスチック（PE）
中継・ペロ：プラスチック（PE）
キャップ・容器：スチール

スチール缶 中身を使いきってから捨ててください。



塗りやすく乾きが速く、雨や雪、さびに強い

油性トタンVII

うすめ液 ペイントうすめ液または 合成ボイル油	
乾燥時間	
(20℃) 約8時間	冬期 約16時間
標準塗装面積（1回塗り）	
90~100㎡	タタミ 約60枚分

高濃度樹脂配合
トタン・カラートタンの屋根
へい・ひさしや農機具
鉄・木などに最適

特長

- 強靱な塗膜が雪や風雨に強く耐久性抜群
- 付着性もよく、さびに強い
- 激しい気候の変化にも耐えトタン板を長期間保護

7kg

カンペハピオ

油性トタンVII

特長・用途

- 特長：■塗りやすく、色・つやが長時間あせず、日光や雨、雪に強い仕上げができます。
■トタン板との付着性がよく、トタン板を長期間保護します。
- 用途：■屋根・下見・ひさし・へいなどのカラートタン板に最適です。
■スチール雨戸・門扉・シャッター・フェンス・鉄骨・窓わく・手すり・板べいなどの鉄部・木部にも好適です。（表示以外の用途には使用しないでください。）

注意事項：塗料を正しく使っていただくため、必ずお読みください。

■塗装上の注意

- 気温5℃以下の時、雨天、湿度の高い（85%以上）時および風が強い日には塗らないでください。結露する季節は早めに塗り終えてください。
- 有機溶剤が含まれているので、屋内で使用の場合は塗装作業中、乾燥中とも換気をよくし、換気が悪い場所では有機ガス用マスクなどを着用してください。
- 火気のあるところでは塗らないでください。
- シリコン樹脂、フッ素樹脂などの特殊防水処理を施した面や、コーキング材、シーリング材の一部には塗料が付着しない場合があるので、試し塗りをし、付着の程度を確認してから塗装してください。
- 新しいトタンは塗料の付着が悪いので、半年くらい放置後、表面のキラキラがなくなってから、当社の「さび止めシリーズ（水性または、油性）」を下塗りし、十分に乾燥後塗ってください。
- カラートタンの塗替えでまだツヤが残っている場合、旧塗膜の表面につやがある場合や白い粉が付く状態の塗膜は、付着性をよくするためにワイヤーブラシまたはサンドペーパーで表面を荒らし、粉をよく掃除してから塗ります。
- 他の塗料と混合しないでください。
- 汚れても差し支えない服装で作業し、塗装作業中は手袋や保護眼鏡などを着用してください。
- 皮膚に付いた塗料はすぐにペイントうすめ液で拭き取り、直ちに石けん水で洗ってください。
- 万一、衣類その他に塗料が付着したときはすぐにペイントうすめ液で洗うと落ちることがあります。脱色する場合は取れませんが、事前に試してください。塗料は乾いてからでは取れません。
- 電動スプレーなどで吹き付け塗装をするときは霧を吸い込まないよう注意してください。
- うすめ過ぎると色や仕上がりが異なり、本来の効果が発揮できません。
- 塗る前に“合成ボイル油”を10~15%（容量比）または“ペイントうすめ液”を7~10%加えます。
- 合成ボイル油を使うとつや・伸び・耐候性が向上します。ただし、乾燥性が低下しますので、秋・冬期は減量してください。

油性トタンVII

品名・成分・用具・塗装間隔

品名：合成樹脂塗料 成分：合成樹脂（アルキドなど）、顔料、有機溶剤
塗装間隔：塗り重ねる時は一日以上置いてから塗ります。（20℃）
用具：腰の強い油性屋根用ハケ（毛幅約7~10cm）、油性用ハケ（毛幅5~7cm）、広い面積の場合はローラーバケが効率的です。〈その他の用具〉電動スプレー、皮スキ、ワイヤーブラシ、サンドペーパー、コーキング材、マスキングテープ、ビニールシート、ウエス、受け皿（さげ缶）など。

注意事項：塗料を正しく使っていただくため、必ずお読みください。

■取扱い上の注意

- やむを得ず塗料を捨てる時は、火気のない屋外で、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分するか、当社の「残塗料処理剤」を使用します。
- 指定のうすめ液以外でうすめないこと。
- 塗装本来の目的以外には使用しないこと。
- 取っ手にロープをかけての持ち運び厳禁。

■保管上の注意

- 子供の手が届かない所に保管し、誤飲、誤食をしないよう注意すること。
- 塗料はふたを完全にし、容器のさびやすい所、直射日光や-5℃以下の場所を避けて冷暗所に保管すること。火気近くでの保管厳禁。

■救急処置

- ★目に入ったとき：多量の水で十分に洗いできるだけ早く医師の診察を受けること。
- ★手や肌に付着したとき：せっけん水でよく洗い流し、痛みや皮膚に変化等があるときには、医師の診察を受けること。
- ★誤って飲み込んだとき：無理に吐き出さず、すみやかに医師の診察を受けること。
- ★気分が悪くなったとき：作業を中止し空気の清らかな場所で安静にすること。
- 顔料が沈澱していることがありますので、必ず缶の底の隅々まで、よくかき混ぜてご使用ください。

株式会社カンペハピオ 大阪府吹田市江坂町1-23-20
お問い合わせ先 カンペハピオお客様相談室 ☎0120-167167
ホームページ <http://www.kanpe.co.jp>

商品名：油性トタン用VII

I01